

(6月17日) : VN 指数は売り圧力を受ける

月曜日のホーチミン取引所の VN 指数は売り圧力が高まったため、950 ポイントの重要な支持線を割って下落した。

VN 指数は 6.66 ポイント (0.7%) 下落し、946.95 ポイントで取引を終えた。114 銘柄が上昇したのに対し、187 銘柄が下落した。出来高は 11% 上昇し 1 億 7400 万株が取引され、売買代金は 16% 上昇し 4 兆ドンほどにのぼった。

時価総額上位 10 銘柄の中で、ベトナム産業貿易商業銀行 (CTG) が唯一の上昇銘柄で 0.74% 上昇し 20,450 ドンで取引を終えた。6 銘柄が下落し、残る 3 銘柄は変わらずであった。ベトコムバンク (VCB)、ビナミルク (VNM)、サベコ (SAB) が変わらずで取引を終えた。

引けは変わらずだったが、VNM と SAB は前場は下落していたため、上昇トレンドで引けたことになった。

その他の大型株では、ビンググループ (VIC) は 0.87% 下落し 114,500 ドンで取引を終え、ビンホームズ (VHM) は 2.37% 下落し、78,000 ドンで取引を終えた。さらに、多くの大型株は 1% 以上下落した。テクコムバンク (TCB)、ベトジェット航空 (VJC)、ベトナム航空 (HVN)、ノバランド (NVL) などが代表的な下落した銘柄だった。

上昇した銘柄では、国営電力会社であるペトロベトナムパワー (POW) が 2.24% 上昇し 15,950 ドンで取引を終えた。出来高は 360 万株であった。エクシムバンク (EIB) は 1.9% 上昇し、出来高は 100 万株ほどであった。

FLC ファロス建設 (ROS) は出来高が 1000 万株以上で、最も取引された銘柄であった。タンタオ不動産 (ITA) とホアファットグループ (HPG) はそれぞれ 300 万株ほどが取引され、FLC に次ぐ出来高の銘柄だった。

ハノイ取引所では、HNX 指数が買い戻される展開となり、VN 指数は 0.04 ポイント (0.04%) 上昇し 103.5 ポイントで取引を終えた。52 銘柄が上昇したのに対し、82 銘柄が下落した。

HNX 指数に最も貢献した銘柄は、ビナコネックス (VCG) で出来高が 240 万株であった。ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS) の出来高が 160 万株でそれに次いだ。

外国人投資家の取引は注目すべきものとなった。両取引所を合わせて 1000 億ドン以上の買い越しだった。VNM、POW、BVH などの大型株に買いが集まった。

特に、ホーチミン取引所での外国人投資家の買い越しは 190 万株で、代金にして 1030 億ドンであった。3 営業日ぶりの買い越しとなった。

市場のボラティリティへの警戒を考えると、投資家は高い警戒心を維持したまま、市場を観察するべきだと KIS ベトナム証券はデイリーレポートで語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。